



◆ 一般投稿作品 ◆

広報委員会 選

碁石茶や西双版納に匹敵す

明石 亜生

デイの日は迎えの時間待ちどおし

荒木 景子

むし暑さ蚊に遊ばるる車内かな

伊藤 清子

田植後の畦道の客鴨の二羽

五百蔵利美

うぶすな北風ふけばきかんしゃの音

岡本 初美

暑夏三年日々まだ思う指定席

久保 和子

十葉の花はびこりて農繁期

な ず な

滝のごとしだれ空木の峠かな

中村 定子

五月雨を見つめる母の昼下がり

原 茂

風薫る手すり頼りの寺参り

宮地 美代

◆ とさやまだファミリア ◆

気は長く老いの草引きつゆ晴れ間

恵 美 子

クーラーについてと手が出る暑さかな

八王子小太郎

よる空でおり姫ひこ星デートの日

雅 子

ひまわりの花を見かけて腰のぼす

岡林由利子

君に似し夏山にあり白椿

輝 久

◆ 「涛光」グループ ◆

月見ゆる道を捜してハンドルを

秋山 英身

香美市立美術館

アートの窓



当館収蔵品の中には人物を描いた作品がいくつ  
かあります。その中には観覧者にはつきりと眼差  
しを向けている人物像があり、まるで話しかけら  
れているような感覚になることがあります。

作品の中の人物との間のひそやかな対話は、風  
景や静物を描いた画面からでは感じられない興味  
深い親近感が生まれます。遠い昔に描かれた人々  
との対話は豊かで楽しい鑑賞体験となり、美術館  
で過ごす時間がより実りあるものと感じられます。  
当展では、収蔵品の中から選りすぐられた目力の  
ある作品の数々を観覧者に楽しんでもいただきた  
と思います。

(館長 都築房子)

# 交差する眼差し

8月3日(土)～9月16日(月・祝)

休館日／毎週月曜日  
(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)

【関連企画】

① 館長または学芸員による作品解説

会期中毎日曜日 14時～

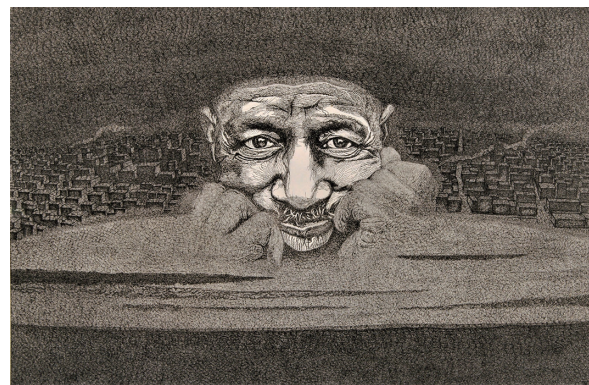
場所：展示室



▶ 山本茂一郎「婦人像」  
制作年不明



▶ 山脇信徳「婦人像」  
1925年



▲ 藤島晃一(1994～95年頃)  
「デルタ・ブルース・プレイヤー(サンハウス)」

香美市森林環境税活用事業

申し込みいただいた方からの投稿を募集しています！！

## かみんぐBABY木のギフト

### 『木のギフト』お便り紹介

かなはちゃん・りっかちゃん

2人で箱からひっくり返して出しては、  
積んだり並べたり、見立て遊びに使ったり  
して楽しんでいます。

まだ箱にきれいにを入れることは難しいで  
すが、もう少し大きくなったら挑戦しても  
らいたいです。

素敵なギフトをありがとうございました！



※香美市から木のギフト  
を受け取られた皆さん  
からのご感想、写真を  
募集しています。  
投稿者の氏名、写真、  
写真に映っている方の  
名前(ペンネームで構  
いません)、感想を、下  
記のメールアドレスま  
でお送りください。

香美市の赤ちゃんに『木のギフト』をプレゼントしています。詳しくは、  
新生児訪問の際にお渡しするパンフレットまたは、香美市ホームページ内  
の特設ページをご覧ください。

【問い合わせ先】農林課林政班 ☎52-9283 ✉rinsei@city.kami.lg.jp



### 今月のキラリ

広報委員会

十葉の花はびこりて農繁期

香美市では、田植えが4～6月にかけて行  
われる。田植えが始まるまでの準備が色々あ  
る農繁期の頃、十葉(ドクダミ)の花が咲く。  
引く暇もなく十葉は、はびこり放題。毎年繰  
り返される一コマを詠んだ、生活に根差した  
作者ならではの一句。十葉は葉、茎、根は薬  
用になり、薬効が多いことから十葉の名がつ  
いた。白い十字花が印象的。

(季語：十葉・ドクダミの花(夏))

ひまわりの花を見かけて腰のぼす

散歩に出かけたのでしようか、太陽に向か  
って咲く向日葵の花を見つけ、そこで一休み。  
腰に両手を置き、ゆっくりと腰をのぼし、向  
日葵を見上げる。その一瞬を詠んだ、命輝く  
充実の一句。

(季語：向日葵(夏))

### 俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明  
記してください。

▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。  
掲載月の前月の1日までに投稿してください。

▼投稿先 総務課内広報委員会事務局 俳句・短歌係  
〒782-18501 (住所記載不要) FAX 53・5958